

第73回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第73回日本体力医学会大会は以下のように準備を進めております。発表の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM) NO.6」への一般発表抄録の原稿提出はすべて大会ホームページ上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

なお、学会の最新情報は第73回大会ホームページ（www.right-stuff.biz/tairyoku73）をご覧ください。

記

1. 会 期：平成30年9月7日(金)，8日(土)，9日(日)
2. 会 場：アオッサ（福井県福井市手寄1丁目4-1）
ハピリン（福井県福井市中央1丁目2-1）
3. 大 会 長：戎 利光
（福井工業大学スポーツ健康科学部学部長・主任教授）
4. 大会事務局：福井大学教育学部芸術・スポーツ教育講座
第73回日本体力医学会大会事務局
事務局長：山田 孝禎
〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1
TEL：0776-23-0500（代表）
E-mail：jspfsm73@gmail.com
運営事務局：株式会社ライトスタッフ内
〒910-0019 福井県福井市春山1丁目1-14 福井新聞さくら通りビル3階
TEL：0776-25-7201 FAX：0776-25-7202
E-mail：tairyoku73@right-stuff.biz
5. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 特別講演
 - (3) 教育講演
 - (4) シンポジウム
 - (5) ワークショップ
 - (6) 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）
 - (7) 学会賞受賞講演
 - (8) ランチョンセミナー
 - (9) 県民・市民公開講座
 - (10) 持久走大会
 - (11) その他

参加登録方法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りいたします。

2. 大会参加費

		学会会員	非会員
事前登録	一般	10,000 円	12,000 円
	学生	5,000 円	7,000 円
当日登録	一般	12,000 円	
	学生	7,000 円	

※非会員の方も事前登録いただけます。なお、大会参加費に宿泊費・飲食代は含まれません。

3. 事前参加登録・宿泊予約

(1) 期間

平成30年4月2日(月)～7月20日(金)まで

(2) 方法

事前参加登録・宿泊予約はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い登録を行って下さい。

第73回学会大会ホームページ：www.right-stuff.biz/tairyoku73

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意下さい。

※大会開催時期は福井県にて国体関連イベントの開催が予定されております。宿泊施設の確保が難しいことが予想されますので、ご予約はお早めをお願いします。また、当大会で確保する宿泊施設の予約は、大会参加登録を完了された方から先着順となりますので、お早めの事前参加登録をお勧めします。

(3) 事前参加登録・宿泊予約費用の支払い方法

大会参加登録・宿泊予約は、オンラインでの参加登録システムにおいて、①クレジットカード、②銀行振り込み、のいずれかの方法でお支払い下さい。

(4) 当日登録方法

事前登録をされていない会員および非会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

※学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員ではなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

演題応募方法

【登録資格】

演題登録ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方は、日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。

FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内

Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

【登録方法】

演題登録開始：平成30年4月2日(月) から

締切：平成30年5月22日(火) まで

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任くださいますようお願い申し上げます。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ホームページ上で演題応募のタブをクリックし、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFSM NO.6」掲載用抄録の登録に必要になりますので忘れることのないようご注意ください。

大会ホームページURL：www.right-stuff.biz/tairyoku73

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFSM NO.6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFSM NO.6」の掲載用抄録の登録期間

開始 平成30年7月上旬（採択通知到着後から）

締切 平成30年9月13日(木) 正午まで

締切を過ぎると「JPFSM NO.6」への抄録の掲載ができません。

【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。
登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ホームページ上に随時掲載いたします。

平成29年に査読をお願いした先生方は次の方々です

相澤勝治	河野寛	鈴木宏哉	堀内雅弘
秋間広	河野史論	清野諭	堀田朋基
阿部匡樹	木越清信	高田和子	町田修一
新井武志	岸本裕歩	高橋佳三	松井敦典
池上剛	北濃成樹	高橋将記	松本恵
池永昌弘	木村穰	竹森重	眞鍋康子
石井香織	工藤慎太郎	田中千晶	丸山剛生
石田行知	久保啓太郎	谷原真一	宮下浩二
石原健吾	久保雅義	田平一行	武藤倫弘
今中國泰	黒川修行	辻大士	村山光義
入江一憲	黒坂裕香	辻本健彦	森秀一
岩本えりか	神崎素樹	富樫健二	山崎文夫
植木章三	甲田道子	鳥居俊	山田浩平
宇高潤	神野宏司	中川ひろみ	山田洋
浦辺幸夫	後藤一成	中原直哉	山田実
遠藤健司	小宮秀明	永峰康一郎	山田陽介
大澤拓也	小山宏之	中村真理子	油井直子
大森一伸	齋藤輝	中村康雄	幸篤武
岡崎和伸	齊藤武比斗	難波秀行	吉岡哲
岡田修一	佐久間邦弘	西脇雅人	吉川貴仁
甲斐裕子	笹井浩行	朴眩泰	吉田成仁
鍛島秀明	佐々木一茂	橋詰賢	吉武裕
春日規克	佐藤進	八田有洋	吉村英一
勝川史憲	重松良祐	林享	若原卓
加藤謙一	芝崎学	林貢一郎	渡邊航平
金森悟成	白木仁宏	原丈貴	渡邊誠治
金子文成	進矢正己	原田和弘	
河合恒明	杉浦克己	東浦拓郎	
川西範明	杉田正明	古川順光	

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2017年9月）議事録

日 時：2017年9月15日（金）午後5時30分～7時00分

場 所：松山大学 カルフル3F 会議室1

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、
小野寺昇、甲斐裕子、勝村俊仁、栗原 敏、
後藤勝正、坂本静男、下光輝一、須田和裕、
竹森 重、武政 徹、田中喜代次、田畑 泉、
成田和穂、西牟田守、浜岡隆文、
山内秀樹（各理事）、
井上 茂、小林康孝（各監事）、
三浦裕正（第72回大会長・愛媛）、
山次俊介（第73回大会長代理・福井）

欠席者：大野 誠、内藤久士、能勢 博、
宮地元彦（各理事）、
清田 寛、定本朋子（各監事）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録を理事会開催中に内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

2. 平成29年度会計報告（決算）に関する件について（勝村財務委員長）

以下のとおり平成29年度決算についての報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約179万円、大会開催収入が約151万円、称号費収入が約34万円、研修会収入が約49万円、広告収入が約8万円増収した結果、年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて93,024,337円であった。

支出の部 予算に比べて大会開催費が予算を約50万円上回るも、全体の支出としてはほぼ予算額通りで、年度内支出としては、83,252,061円であった。

以上により当年度収支としては9,772,276円の黒字となり、次年度繰越金は71,188,518円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き井上監事より監査報告が行われ、平成29年度決算が承認された。

3. 平成30年度会計報告（予算）に関する件について（勝村財務委員長）

平成30年度予算案が提示され、下記の項目について説明が行われた。

- ・収入の正会員の会費を納入率90%で試算した。
- ・別途積立金預金の取り崩しを本年度は行わないこととした。
- ・各地方会の補助金を全て20万円にした。
- ・名簿作成費はオンライン名簿の維持費として計上した。
- ・役員登記関係費は理事の交代に伴い計上した。
- ・租税公課は、本年度より一般社団法人化に伴う消費

税が発生するので、公認会計士に試算して頂き、計上した。

また、それ以外の項目についてはほぼ前年度通り計上し、平成30年度の収支差額としては478,000円の黒字となる旨の報告がなされた（収入合計81,271,000円、支出合計80,793,000円の予定）。

4. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。

5. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の継続申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。

6. 日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号贈呈者候補者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会名誉健康科学アドバイザーの称号贈呈者4名の氏名リストが提示され、承認された。

7. 理事長推薦理事について（鈴木理事長）

役員選挙で選ばれた理事以外の理事候補者について、須永美歌子評議員（日本体育大学児童スポーツ教育学部教授）を社員総会に推薦したいと提案があり、承認された。

8. 学会賞選考委員について（鈴木理事長）

来年度の学会賞の選考委員について、後述する「各種委員会の統廃合について」の中にて、説明する旨、報告があった。

9. 選挙制度の見直しについて（武政総務委員長）

総務委員会にて選挙制度について意見交換を行った結果が報告された。

- ・現在の役員選挙では、理事、理事長、副理事長、常務理事、評議員会長、監事を選挙にて選出するとなっており、理事長、副理事長、常務理事の選挙では、各選挙ごとに投票用紙を発送、回収し、開票作業の度に選挙管理委員を招集して開票を行っている。現状の方法では時間と費用が掛かるため、選挙の簡略化を図っていきたい。
- ・実施する選挙の日数、経費を減らす。例えば、理事長、副理事長、常務理事の選挙は、選出された新理事をすぐに招集し、同一の日に理事長、副理事長、常務理事の選挙を行えば、選挙日数及び経費を減らすことが出来る。
- ・また、現在の選挙に関する規程では、選挙結果で投票数が同数の場合についての扱いが記載されていないが、理事の経験年数、評議員の経験年数の優先順位を考慮して、当選者を決定できるようにしていきたい。
- ・現在、理事の任期は2年、評議員会長、監事の任期

は4年になっている。評議員会長、監事の任期も理事と同様に2年にして、任期の統一を図りたい。

重ねて鈴木理事長より、役員の任期は全て2年に統一し、役員選挙も役員ごとではなく、まとめて選挙を行っていく方法に変更して行きたい旨報告された。

なお、この件は定款の変更を伴うので、来年度の社員総会での審議に向けて、総務委員会で継続して審議を行う事が報告された。

10. 各種委員会の統廃合について（鈴木理事長）

体力医学会の委員会について、現在日本体力医学会には定款施行細則第5章に基づき常設委員会として、総務委員会、編集委員会、学術委員会（スポーツ医学研修会実行委員会、称号委員会、プロジェクト研究委員会）、財務委員会、評議員選考委員会、渉外委員会、倫理委員会、利益相反委員会が設置されている。その他に特別委員会として、プログラム委員会、将来構想検討委員会、広報委員会、男女共同参画推進委員会、ガイドライン検討委員会、学会賞選考委員会、選挙管理委員会、学術刊行物小委員会が設置されている。

特別委員会の数が多く、また、委員会によっては負担している業務量が多い委員会があるので、特別委員会を統廃合していき、簡略化を図っていく旨が、報告された。

審議の結果、特別委員会の統廃合をしていく事が承認された。

11. その他

1) 学会の会員種別について（碓井常務理事）

体力医学会の会員種別は現在一般会員、名誉会員、賛助会員である。会員制度の一部を変更し、シニアの方々に対して、シニア会員（仮称）というものを新規に設定したい。また、学生の方々に対して、学生会員（仮称）というものを新規に設定していきたい。

碓井常務理事から総務委員会にて図っていただくよう依頼した所、武政総務委員長より総務委員会からの回答として、シニア会員については、どのように定義をするのか、という事が話し合わせ、年齢で分けていく事を検討してみてはどうかという意見が出た。学生会員については、他学会でも学生会員の会員種別があり、自然退会者の減少抑制に効果があるか否かを考慮しつつ、検討してみてはどうかという意見が出た。新規に会員種別を設けて参加してもらう事によって、学会の活性化と会員数の減少を図っていききたいと報告された。

井上監事より、学生会員の条件について、学生会員のまま就職して、正会員であるかを確認することはとても煩雑になっていくので、年齢制限を設ける、学生証のコピーを事務局に送るなどの対応を行ったほうが良い、との意見が出た。

会員種別の変更は定款の変更にも関わるので、来年度の社員総会での審議に向けて、総務委員会で継続して審議を行う事が報告された。

2) 体力医学会の和暦、西暦の表記について

（碓井常務理事）

資料によっては和暦と西暦のいずれかが記載され

た資料が提出されるが、片方だけだと年数を読み間違える場合がある。体力医学会の資料では、理事会で配布する資料等はできるだけ和暦と西暦を併用して表記し、和暦と西暦の読み間違いがないようにしていきたいと提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会（田中委員長）

資料「理事会申し送り事項」に記載されている通りであると、報告された。

2) 学術委員会（竹森委員長、山内スポーツ医学研修会実行委員長）

資料「理事会申し送り事項」に基づき、スポーツ医学研修会について、今後の課題と改善点について報告があった。

スポーツ医学研修会の知名度を上昇させるために告知をする、看護系の雑誌に告知の掲載をして頂く等の周知徹底と、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号の有効活用方法を検討していきたいとの報告があった。

3) 渉外委員会（永富委員長）

① ECSS Young Investigator Award 受賞者を招く国際セッションについて、どのような学術領域の若手研究者が受賞するか7月の中旬にならないとわからないため、受賞者が決まってから座長をお願いすることになり、演題間の関連がないという課題が生じている。こちらの招待を1年2ヵ月後に変更して、予めセッションに関わりのあるシンポジウムの講演を担当する先生に依頼し、シンポジウムをお願いするという意見が出たことが、報告された。

② 国際学術交流奨励賞について、初年度の応募者が22名、2年度に応募者が16名であり、予想を下回っていた。編集委員会副委員長から、表彰だけで奨励金はなくてもよいのではという意見を頂いたので、改めて検討していきたいと報告された。

③ プログラム委員会の中で、学会大会で開催するシンポジウム（案）の開催のための費用を集めなければいけないとの話があった。渉外ということであれば、プログラム委員会と協力してシンポジウム（案）の開催を行うべく、検討していきたい旨、報告された。

④ プレオリンピックコンgresについて、① IC-SEMIS 開催準備委員会が設立されている。日本学術会議において ICSSBE の開催について連絡を頂いた後、渉外委員会として応援していきたい旨、報告された。

4) 倫理委員会（成田委員長）

8月21日から学会ホームページにて「研究倫理審査」を公開したことが報告された。

5) 広報委員会（甲斐委員長）

資料「理事会申し送り事項」に記載されている通りであると、報告された。

2. 第73回（福井）大会の進捗状況

（山次第73回大会長代理）

配布資料に基づき、大会会場の変更等準備状況について報告された。

会 場：AOSSA, ハピリン

会 期：2018年9月7日(金)～9日(日)

テーマ：しあわせ元気なふくいでつむぐ体力医学
～QOL維持・向上の運動効果～

3. 第74回（茨城）大会の進捗状況（田中第74回大会長）

大会の準備状況等について報告された。

会 場：つくば国際会議場

会 期：2019年9月19日(木)～21日(土)

4. その他

1) 鈴木理事より、下光理事（(公財)健康・体力づくり事業財団理事長）に、スポーツ医学研修会の知名度を向上させるため、健康・体力づくり事業団において、日本体力医学会スポーツ医学研修会開催案内の告知をお願いしたい旨、依頼された。これに対し下光理事から、健康・体力づくり事業団のHPにて研修会開催の告知は既に行っており、学会からの呼びかけと連携した告知を行っていきたいと回答された。

2) 下光理事より、健康・体力づくり事業財団より健康手帳を作成し、学会大会で無料配布することが報告された。それに伴い、健康手帳が理事に配布された。

一般社団法人日本体力医学会 平成29年度評議員会 議事録

日 時：2017年9月17日(日)

午後1時30分～午後2時30分

場 所：松山大学文京キャンパス

カルフル3FホールA会場

議 長：下光輝一

出席理事監事：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、
碓井外幸、甲斐裕子、小野寺昇、
勝村俊仁、栗原 敏、後藤勝正、
坂本静男、下光輝一、須田和裕、
武政 徹、田畑 泉、成田和穂、
浜岡隆文、宮地元彦、山内秀樹各理事、
清田 寛、小林康孝各監事

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち、下記の項目について報告され、承認された。

- ・三浦大会長より、挨拶と第72回大会概要の報告が行われた。
- ・評議員総数541名の内、委任状提出者269名で、午後1時25分現在の評議員会出席者189名で、評議員総数の過半数270名を超えており、評議員会開催が成立することが確認された。

【審議事項】

1. 平成29年度庶務報告に関する件（鈴木理事長）

1) 会員総数4,308名（2017年7月31日現在）

名誉会員	30名
正 会 員	4,260名
外国会員	13名
賛助会員	5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、大正製薬株式会社

2) 役員数

評 議 員	541名
（内）理事	25名
監 事	4名

3) 購読数 149団体

体力科学 143団体

JPFMSM 6団体

4) 年度内入退会状況

新入会員 343名

退 会 者 397名

（内）申 込 者 170名

自然退会 227名

2. 平成29年度事業報告に関する件（武政総務委員長）

以下のとおり平成29年度事業報告についての報告がなされた。

1) 事業期間

2016年8月1日～2017年7月31日

2) 委員会活動

◎総務委員会

○本学会の庶務に関する事項

日本体力医学会名誉会員推薦内規の改正

○学会大会長に関する事項

第75回大会（鹿児島）の大会長候補者の検討

（未決定）

◎編集委員会

○学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol.5, No.3, No.4, No.5, No.6,

Vol.6, No.1, No.2, No.3

「体力科学」

Vol.65, No.4, No.5, No.6,

Vol.66, No.1, No.2, No.3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施。

○JPFMSM掲載論文リストのメール配信

○投稿規定の改訂

・2016.9.1

論文種別に「Study Protocol」を追加

○編集委員会規程改訂

・2017.5.19

査読期間を3週間から2週間に短縮

○ジャーナルの活性化対策の検討

- 1) 「特集号」の企画
注目されているホットスポットに焦点を当てた「特集号」を設定
「体力科学」すでに執筆依頼
「JPFMSM」準備中
- 2) 査読期間の短縮
標準査読期間を2週間に短縮
- 3) 第72回大会での教育セッションの開催
学会大会で査読基準などに関するセッションを開催
「JPFMSM 審査基準と方針について」
I. 学会員の査読システムに対する理解を高めることで投稿数アップを目指す
II. 査読者に査読基準の周知と査読期間の遵守を依頼することで、査読システムの透明化と短縮化を図ることで投稿数アップを目指す
- 4) JPFMSMへの投稿依頼メールの送付
理事, 評議員, 編集委員
- 5) その他の検討事項 (未対応)
I. 「オープンアクセスジャーナル」としての体裁整備
II. 「Aims and scope」を明示
III. 他誌への投稿時にJPFMSMの論文引用を依頼
IV. 査読状況を学会Webサイトで明示
V. 海外EditorをEditorial Boardに追加
VI. Language Editorを明示

○編集業務における収支改善策の検討

- 1) 論文掲載料改定案の検討
- 2) カバー紙の変更 (対応済み)

○編集委員の増員

投稿の多いカテゴリを担当する編集委員の増員検討中 (数名から了承を得た)

○「ACSM's Guidelines for Exercise Testing and Prescription - 10th Edition -」の翻訳準備

南江堂と打ち合わせ

翻訳者候補のリストアップ

○日本体力医学会学術刊行物『メディカルフィットネス - 臨床医向けのエクササイズガイド - (仮題)』の企画 (学術刊行物小委員会と共同)

出版社 (社会保険研究所) より内諾

○委員会開催 (2016.9.22)

◎学術委員会

- スポーツ医学研修会実行委員会
・平成29年度 (第28回) スポーツ医学研修会
(I) 基礎コース (平成29年6月30~7月1日, 於東京慈恵会医科大学)
参加者: 23名
※(II) 応用コース (平成29年8月4~5日, 於東京慈恵会医科大学)
参加者: 15名
※修了試験 (平成29年8月6日, 於東京慈恵会医科大学)

受験者: 10名, 合格者数: 10名

○称号委員会

- ・「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」
申請時に審査 (委員会) →承認 (理事会) →報告 (総会)

○プロジェクト研究委員会

- ・平成28年度まで行っていた日本体力医学会プロジェクト研究の公募は平成29年度から行わないことになった。

◎財務委員会

平成30年度 (平成29年8月1日~30年7月31日) 予算案の作成と予算の適切な執行を確認した。

◎プログラム委員会

2017年9月23日~25日開催の学術大会 (松山市) におけるシンポジウムの企画を当委員会委員に考えてもらい, 3案を作成した。
しかしながら開催費用が工面できず, 未実施となってしまった。

◎評議員選考委員会

評議員候補者申請書をもとに平成29年度の評議員選考を行い, 理事会, 評議員会兼社員総会に諮った。

◎渉外委員会

○国際交流事業

- ・ECSS-JPFMSM交流シンポジウム (ECSS 2016 Metropolitan Ruhr) (H29年度予算)
平成29年7月6日 座長 永富良一
Challenging Physical Inactivity in Childhood and Adolescence
紙上敬太 (早稲田大学),
鈴木宏哉 (順天堂大学)
- ・国際学術交流奨励賞 (応募者16名) (H29年度予算)

- 1位 塚本敏人 立命館大学 専門研究員
Berlin BRAIN & BRAIN PET 2017
- 2位 門口智泰 順天堂大学 博士研究員
Cell Symposia Exercise Metabolism
- 3位 小谷鷹哉 東京大学 大学院生
Experimental Biology 2017
- 4位 竹垣淳也 東京大学 大学院生
Berlin BRAIN & BRAIN PET 2017
- 5位 中野大輝 順天堂大学 大学院生
Cell Symposia Exercise Metabolism
- 5位 柳岡拓磨 早稲田大学 大学院生
ECSS 2017

○国内関連学術団体との交流・連携

- ・心血管病予防に関する包括的管理チャートのJPFMSM掲載済み
Comprehensive risk management for the prevention of cerebro-cardiovascular diseases in Japan Joint Committee for Comprehensive Risk Management Chart for the Prevention of cerebro-cardiovascular Diseases Released: July 12, 2017
JPFMSM 2017 pp277-287

◎倫理委員会

会員から受け付ける研究倫理審査の詳細を定めた

「規程施行に関する細則」の制定および申請書式類の作成

◎将来構想検討委員会

同委員会ミッションを「2020年東京オリンピック、パラリンピック」開催を機会に、日本体力医学会をどのように盛り上げていくかを理事会に具申すること」と考え、委員の方々のご意見のアンケート調査を行い纏めて2月19日(金)の理事会に報告。アンケート結果の要約：

- ・学会の顔であるホームページの改訂
- ・オリンピックに関連したシンポジウムの開催
- ・実践者向け現場に役立つ体力医学に関する講習
- ・各種ガイドラインの作成
- ・学会誌について
- ・学会運営について

◎広報委員会

学会ホームページの管理、運営

◎男女共同参画推進委員会

男女共同参画に関するシンポジウムの開催について議論した。

その結果を基に、2017年9月17日に第72回日本体力医学会大会において「日本体力医学会 男女共同参画推進委員会提案シンポジウム“女性のライフステージと体力科学”」を開催する予定である。

◎ガイドライン検討委員会

特に報告事項はない。

◎利益相反委員会

特に報告事項はない。

3) 第71回日本体力医学会大会の実施

大会長：立身政信(岩手大学保健管理センター教授)

会期：2016年9月23日(金)～25日(日)

会場：いわて県民情報交流センター(アイーナ)、盛岡地域交流センター市民文化ホール(マリオス)

4) 平成30年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号認定者

- ・新規 5名(第27回研修会)
岩橋佳子 植谷欣也 熊谷賢哉
新屋敷紀美代 松元隆秀
- ・新規 1名(第28回研修会)
東浦至孝
- ・継続 8名
内山雅文 大見武弘 沼尾成晴
松尾絵梨子 前田米生 松原茂
丸田巖 三浦真弘
- ・終身 5名
片山敬章 勝木保夫 後藤英太
白土真紀 中川幸洋

5) 平成30年度日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号贈呈者

武政徹 竹森重 田畑泉
山内秀樹

3. 平成29年度会計(決算)に関する件

(勝村財務委員長)

以下のとおり平成29年度決算についての報告がな

された。

収入の部 予算に比べて会費収入が約179万円、大会開催収入が約151万円、称号費収入が約34万円、研修会収入が約49万円、広告収入が約8万円増収した結果、年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて93,024,337円であった。

支出の部 予算に比べて大会開催費が予算を約50万円上回るも、全体の支出としてはほぼ予算額通りで、年度内支出としては、83,252,061円であった。

以上により当年度収支としては9,772,276円の黒字となり、次年度繰越金は71,188,518円になったとの報告があった。本決算については清田監事より、公認会計士によりチェックが行われた事が併せて報告があり、引き続き小林監事より監査報告が行われた。

4. 平成30年度事業計画に関する件(武政総務委員長)

以下のとおり平成30年度事業計画についての報告がなされた。

1) 事業期間

2017年8月1日～2018年7月31日

2) 委員会活動

◎総務委員会

第75回鹿児島大会の大会長の推薦

学会総務に関わる規則の見直し

会員種別の追加

◎編集委員会

○体力科学Vol.66-4～67-3(合計6号)及びJPF-SM Vol.6-4～7-3(合計6号)の発行、公開

○第72回大会での教育セッションの開催

「JPFSM審査基準と方針について」

○掲載論文数を増やす

JPFSM: Regular Articlesを5割程度増やす。

体力科学: 原著論文を5割程度増やす。

教育講座を奇数号に含める。

トピック講座を偶数号に含める。

◎学術委員会

○スポーツ医学研修会実行委員会

第29回スポーツ医学研修会の実施(学会HP・体力科学に案内を掲載)

○称号委員会

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査をスポーツ医学研修会後の申請により実施

○プロジェクト研究委員会

本年度は公募を行わず

◎財務委員会

平成31年度予算案の作成

◎プログラム委員会

○学会大会におけるシンポジウム(特に理事会あるいは大会実行委員会主催)の検討・開催

◎評議員選考委員会

○大会前の機関紙に、これまで通りに評議員推薦のためのレジメを入れ、平成28年度に改定された評議員申請要項に対する理解をはかり、多くの会員に評議員推薦を促し評議員数の増加をは

- かる。
- ◎渉外委員会
- 国際交流事業
 - ・国際学会参加奨励賞の公募
 - ・第72回日本体力医学会大会（愛媛）における国際交流事業
 - 国内関連学術団体との交流・連携
 - ・東京オリンピック2020に関連する学術研究集会等への協力・共催
 - 2020 International Convention on Science, Education and Medicine in Sports
 - ・第9回アジアオセアニア生理学連合会（神戸）
 - 第95回日本生理学会と国際会議の合同大会
 - ・日本小児肥満治療学会
 - 「小児肥満症診療ガイドライン2017」に対するパブリックコメント
 - ・日本動脈硬化学会
 - I. 「脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート」の体力科学誌への掲載
 - II. 「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版」に対するパブリックコメント
 - ・日本臨床運動療法学会
 - EIM Japan 理事会メンバーに体力医学会メンバーが参加
 - 日本体力医学会の活動の国内外に対する見える化
 - ・広報委員会と連携
- ◎倫理委員会
- 研究倫理審査事業の開始
 - 学会発表、論文発表における倫理規定遵守の推進と監視
- ◎広報委員会
- ホームページの充実、その他本学会に関わる事項の広報活動。
- ◎男女共同参画推進委員会
- 学会大会において 男女共同参画に関するシンポジウムを開催する。
- ◎ガイドライン検討委員会
- 災害避難時の運動ガイド作成等、ガイドライン作成の方向性を検討する。
- ◎利益相反委員会
- 体力科学、JPFISMの投稿規定の、利益相反の記載法を改定する。
- 3) 第72回日本体力医学会大会の実施
- 大会長：三浦裕正（愛媛大学医学部附属病院長, 愛媛大学医学部整形外科学）
- 会 期：2017年9月16日(土)～18日(月)
- 会 場：愛媛大学城北キャンパス,
松山大学文京キャンパス
- 4) 第73回日本体力医学会大会の準備
- 大会長：戎 利光（福井工業大学スポーツ健康科学部学部長・教授）
- 会 期：2018年9月7日(金)～9日(日)
- 会 場：AOSSA, ハピリン
- 5) 第74回日本体力医学会大会の準備
- 大会長：田中喜代次（筑波大学体育系大学院人間総合科学研究科教授）

会 期：2019年9月19日(木)～21日(土)

会 場：つくば国際会議場

5. 平成30年度会計報告（予算）に関する件（勝村財務委員長）

平成30年度予算案が提示され、下記の項目について説明が行われた。

- ・収入の正会員の会費納入率を90%で試算した。
- ・別途積立金預金の取り崩しを本年度は行わないこととした。
- ・各地方会の補助金を全て20万円にした。
- ・名簿作成費はオンライン名簿の維持費として計上した。
- ・役員登記関係費は理事の交代に伴い計上した。
- ・租税公課は、本年度より一般社団法人化に伴う消費税が発生するので、公認会計士の先生に試算して頂き、計上した。

また、それ以外の項目についてはほぼ前年度通り計上し、平成30年度の収支差額としては478,000円の黒字となる旨の報告がなされた（収入合計81,271,000円、支出合計80,793,000円の予定）。

6. 名誉会員推薦に関する件（鈴木理事長）

名誉会員選考委員会（総務委員会兼務）にて名誉会員推薦内規に基づき以下の4名の候補者が推薦された旨の報告がなされ、審議の結果、承認された。

田中宏暁, 成澤三雄, 古田善伯, 山地啓司（敬称略）

7. 評議員推薦に関する件（下光評議員会長）

平成29年度評議員推薦に関しては28名の推薦があり、評議員選考委員会で評議員選考規定に従って審査を行い、その結果28名の候補者全員が評議員資格を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。

新評議員（28名）

荒井弘和	石原一成	稲次潤子
上田真也	臼井達矢	宇田宗弘
江口泰正	大河原一憲	大迫正文
大島秀武	大野善隆	岡田真平
笠原政志	桂 良寛	越田専太郎
越中敬一	須藤みず紀	外林大輔
難波秀行	萩 裕美子	濱崎秀崇
原 丈貴	原田和弘	星野太佑
松下宗洋	宮本忠吉	羅 成圭
弘原海 剛		

8. 役員改選に関する件（須田選挙管理委員長）

以下のとおり平成29年度社員総会後の役員について選挙結果の報告がなされた。

新理事（24名）

確井外幸	宇高 潤	大野 誠
小野寺 昇	勝村俊仁	川原 貴
栗原 敏	後藤勝正	坂本静男
下光輝一	鈴木政登	須田和裕
武政 徹	竹森 重	田中喜代次
田畑 泉	永富良一	成田和穂
西平賀昭	浜岡隆文	前田清司
宮川俊平	宮地 元彦	和気秀文

また、鈴木理事長より、須永美歌子会員を理事長推薦理事とすることが報告された。

9. 第73回日本体力医学会大会（福井）開催について（戎 利光第73回大会長）

大会の進捗状況が報告された。

大会長：戎 利光（福井工業大学スポーツ健康科学部 学部長・教授）

会 期：2018年9月7日（金）～9日（日）

会 場：AOSSA, ハピリン

10. 第74回日本体力医学会大会（茨城）開催について（田中喜代次第74回大会長）

大会の進捗状況が報告された。

大会長：田中喜代次（筑波大学体育系大学院人間総合科学研究科教授）

会 期：2019年9月19日（木）～21日（土）

会 場：つくば国際会議場

11. その他（鈴木理事長）

鈴木理事長より、体力医学会の財政の進捗状況について説明された。

平成24年度以降の団塊の世代の会員が定年退職で退会されたこと、更に平成25年から和文誌に加え英文誌も発刊となった為、会費収入の減少と、印刷費の高騰により、年間1,100万円以上の赤字が発生していた。しかし、赤字の削減の為、多くの事業を削減してきた。（削減した事業の詳細は、8月25日の理事会議事録参照）

また、平成29年度の決算は黒字と報告されているが、別途積立金預金を取り崩して黒字となっているので、別途積立金預金を取り崩さなければ収支計算上では実質赤字になる。

しかしながら、平成30年度の予算案では、別途積立金預金を取り崩さないで黒字を見込んでおり、現状では平成30年度には、完全に黒字になる見通しである。

財政基盤が固まってきた段階で、赤字の原因となった英文誌の問題等様々な問題を解決していき、新たな企画を立ち上げる予定である。

一般社団法人日本体力医学会 平成29年度社員総会 議事録

日 時：2017年9月17日（日）

午後1時30分～午後2時30分

場 所：松山大学文京キャンパス

カルフル3FホールA会場

議 長：鈴木政登

出席理事監事：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、
碓井外幸、甲斐裕子、小野寺昇、
勝村俊仁、栗原 敏、後藤勝正、
坂本静男、下光輝一、須田和裕、
武政 徹、田畑 泉、成田和穂、
浜岡隆文、宮地元彦、山内秀樹各理事、
清田 寛、小林康孝各監事

出席社員数：189名（議決権個数189個）

議事録作成者：鈴木政登

議事に先立ち、三浦大会長より、挨拶と第72回大会概要の報告が行われた。

【審議事項】

1. 平成29年度庶務報告に関する件（鈴木理事長）

1) 会員総数4,308名（2017年7月31日現在）

名誉会員 30名

正 会 員 4,260名

外国会員 13名

賛助会員 5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、大正製薬株式会社

2) 役員数

評 議 員 541名

（内）理事 25名

監 事 4名

3) 購読数 149団体

体力科学 143団体

JPFMSM 6団体

4) 年度内入退会状況

新入会員 343名

退 会 者 397名

（内）申 込 者 170名

自然退会 227名

2. 平成29年度事業報告に関する件（武政総務委員長）

以下のとおり平成29年度事業報告についての報告がなされ、承認された。

1) 事業期間

2016年8月1日～2017年7月31日

2) 委員会活動

◎総務委員会

○本学会の庶務に関する事項

日本体力医学会名誉会員推薦内規の改正

○学会大会長に関する事項

第75回大会（鹿児島）の大会長候補者の検討（未決定）

◎編集委員会

○学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol.5, No.3, No.4, No.5, No.6,

Vol.6, No.1, No.2, No.3

「体力科学」

Vol.65, No.4, No.5, No.6,

Vol.66, No.1, No.2, No.3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前

- 公開』での実施。
- JPFISM掲載論文リストのメール配信
 - 投稿規定の改訂
 - ・2016.9.1
論文種別に「Study Protocol」を追加
 - 編集委員会規程改訂
 - ・2017.5.19
査読期間を3週間から2週間に短縮
 - ジャーナルの活性化対策の検討
 - 1) 「特集号」の企画
注目されているホットスポットに焦点を当てた「特集号」を設定
「体力科学」すでに執筆依頼
「JPFISM」準備中
 - 2) 査読期間の短縮
標準査読期間を2週間に短縮
 - 3) 第72回大会での教育セッションの開催
学会大会で査読基準などに関するセッションを開催
「JPFISM 審査基準と方針について」
 - I. 学会員の査読システムに対する理解を高めることで投稿数アップを目指す
 - II. 査読者に査読基準の周知と査読期間の遵守を依頼することで、査読システムの透明化と短縮化を図ることで投稿数アップを目指す
 - 4) JPFISMへの投稿依頼メールの送付
理事、評議員、編集委員
 - 5) その他の検討事項（未対応）
 - I. 「オープンアクセスジャーナル」としての体裁整備
 - II. 「Aims and scope」を明示
 - III. 他誌への投稿時にJPFISMの論文引用を依頼
 - IV. 査読状況を学会Webサイトで明示
 - V. 海外EditorをEditorial Boardに追加
 - VI. Language Editorを明示
 - 編集業務における収支改善策の検討
 - 1) 論文掲載料改定案の検討
 - 2) カバー紙の変更（対応済み）
 - 編集委員の増員
投稿の多いカテゴリを担当する編集委員の増員検討中（数名から了承を得た）
 - 「ACSM's Guidelines for Exercise Testing and Prescription - 10th Edition -」の翻訳準備
南江堂と打ち合わせ
翻訳者候補のリストアップ
 - 日本体力医学会学術刊行物『メディカルフィットネスー臨床医向けのエクササイズガイドー（仮題）』の企画（学術刊行物小委員会と共同）
出版社（社会保険研究所）より内諾
 - 委員会開催（2016.9.22）
 - ◎学術委員会
 - スポーツ医学研修会実行委員会
 - ・平成29年度（第28回）スポーツ医学研修会
 - （I）基礎コース（平成29年6月30～7月1日、於東京慈恵会医科大学）
参加者：23名
 - ※（II）応用コース（平成29年8月4～5日、於東京慈恵会医科大学）
参加者：15名
 - ※修了試験（平成29年8月6日、於東京慈恵会医科大学）
受験者：10名、合格者数：10名
 - 称号委員会
 - ・「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」
申請時に審査（委員会）→承認（理事会）→報告（総会）
 - プロジェクト研究委員会
 - ・平成28年度まで行っていた日本体力医学会プロジェクト研究の公募は平成29年度から行わないことになった。
 - ◎財務委員会
 - 平成30年度（平成29年8月1日～30年7月31日）
予算案の作成と予算の適切な執行を確認した。
 - ◎プログラム委員会
 - 2017年9月23日～25日開催の学術大会（松山市）におけるシンポジウムの企画を当委員会委員に考えてもらい、3案を作成した。
しかしながら開催費用が工面できず、未実施となってしまった。
 - ◎評議員選考委員会
 - 評議員候補者申請書をもとに平成29年度の評議員選考を行い、理事会、評議員会兼社員総会に諮った。
 - ◎渉外委員会
 - 国際交流事業
 - ・ECSS-JPFISM交流シンポジウム（ECSS 2016 Metropolitan Ruhr）（H29年度予算）
平成29年7月6日 座長 永富良一
Challenging Physical Inactivity in Childhood and Adolescence
紙上敬太（早稲田大学）、
鈴木宏哉（順天堂大学）
 - ・国際学術交流奨励賞（応募者16名）（H29年度予算）
 - 1位 塚本敏人 立命館大学 専門研究員
Berlin BRAIN & BRAIN PET 2017
 - 2位 門口智泰 順天堂大学 博士研究員
Cell Symposia Exercise Metabolism
 - 3位 小谷鷹哉 東京大学 大学院生
Experimental Biology 2017
 - 4位 竹垣淳也 東京大学 大学院生
Berlin BRAIN & BRAIN PET 2017
 - 5位 中野大輝 順天堂大学 大学院生
Cell Symposia Exercise Metabolism
 - 5位 柳岡拓磨 早稲田大学 大学院生
ECSS 2017
 - 国内関連学術団体との交流・連携
 - ・心血管病予防に関する包括的管理チャートのJPFISM掲載済み
Comprehensive risk management for the prevention of cerebro-cardiovascular diseases

es in Japan Joint Committee for Comprehensive Risk Management Chart for the Prevention of cerebro-cardiovascular Diseases
Released: July 12, 2017
JPFMSM 2017 pp277-287

◎倫理委員会

会員から受け付ける研究倫理審査の詳細を定めた「規程施行に関する細則」の制定および申請書書類の作成

◎将来構想検討委員会

同委員会ミッションを「2020年東京オリンピック、パラリンピック」開催を機会に、日本体力医学会をどのように盛り上げていくかを理事会に具申すること」と考え、委員の方々のご意見のアンケート調査を行い纏めて2月19日(金)の理事会に報告。アンケート結果の要約:

- ・学会の顔であるホームページの改訂
- ・オリンピックに関連したシンポジウムの開催
- ・実践者向け現場に役立つ体力医学に関する講習
- ・各種ガイドラインの作成
- ・学会誌について
- ・学会運営について

◎広報委員会

学会ホームページの管理, 運営

◎男女共同参画推進委員会

男女共同参画に関するシンポジウムの開催について議論した。

その結果を基に、2017年9月17日に第72回日本体力医学会大会において「日本体力医学会 男女共同参画推進委員会提案シンポジウム “女性のライフステージと体力科学”」を開催する予定である。

◎ガイドライン検討委員会

特に報告事項はない。

◎利益相反委員会

特に報告事項はない。

3) 第71回日本体力医学会大会の実施

大会長: 立身政信 (岩手大学保健管理センター教授)

会期: 2016年9月23日(金)~25日(日)

会場: いわて県民情報交流センター (アイーナ), 盛岡地域交流センター市民文化ホール (マリオス)

4) 平成30年度日本体力医学会健康科学アドバイザー® 称号認定者

- ・新規 5名 (第27回研修会)
岩橋佳子 植谷欣也 熊谷賢哉
新屋敷紀美代 松元隆秀
- ・新規 1名 (第28回研修会)
東浦至孝
- ・継続 8名
内山雅文 大見武弘 沼尾成晴
松尾絵梨子 前田米生 松原 茂
丸田 巖 三浦真弘
- ・終身 5名
片山敬章 勝木保夫 後藤英太
白土真紀 中川幸洋

5) 平成30年度日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー

ザー称号贈呈者

武政 徹 竹森 重 田畑 泉
山内 秀樹

3. 平成29年度会計 (決算) に関する件
(勝村財務委員長)

以下のとおり平成29年度決算についての報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約179万円, 大会開催収入が約151万円, 称号費収入が約34万円, 研修会収入が約49万円, 広告収入が約8万円増収した結果, 年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて93,024,337円であった。

支出の部 予算に比べて大会開催費が予算を約50万円上回るも, 全体の支出としてはほぼ予算額通りで, 年度内支出としては, 83,252,061円であった。

以上により当年度収支としては9,772,276円の黒字となり, 次年度繰越金は71,188,518円になったとの報告があった。本決算については清田監事より, 公認会計士によりチェックが行われた事が併せて報告があり, 引き続き小林監事より監査報告が行われ, 審議の結果, 承認された。

4. 平成30年度事業計画に関する件 (武政総務委員長)

以下のとおり平成30年度事業計画についての報告がなされた。

1) 事業期間

2017年8月1日~2018年7月31日

2) 委員会活動

◎総務委員会

第75回鹿児島大会の大会長の推薦

学会総務に関わる規則の見直し

会員種別の追加

◎編集委員会

○体力科学 Vol.66-4~67-3 (合計6号) 及び JPF-SM Vol.6-4~7-3 (合計6号) の発行, 公開

○第72回大会での教育セッションの開催

「JPFMSM 審査基準と方針について」

○掲載論文数を増やす

JPFMSM: Regular Articles を5割程度増やす。

体力科学: 原著論文を5割程度増やす。

教育講座を奇数号に含める。

トピック講座を偶数号に含める。

◎学術委員会

○スポーツ医学研修会実行委員会

第29回スポーツ医学研修会の実施 (学会HP・体力科学に案内を掲載)

○称号委員会

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査をスポーツ医学研修会後の申請により実施。

○プロジェクト研究委員会

本年度は公募を行わず。

◎財務委員会

平成31年度予算案の作成

- ◎プログラム委員会
○学会大会におけるシンポジウム（特に理事会あるいは大会実行委員会主催）の検討・開催
- ◎評議員選考委員会
○大会前の機関紙に、これまで通りに評議員推薦のためのレジメを入れ、平成28年度に改定された評議員申請要項に対する理解をはかり、多くの会員に評議員推薦を促し評議員数の増加をはかる。
- ◎渉外委員会
○国際交流事業
・国際学会参加奨励賞の公募
・第72回日本体力医学会大会（愛媛）における国際交流事業
- 国内関連学術団体との交流・連携
・東京オリンピック2020に関連する学術研究集会等への協力・共催
2020 International Convention on Science, Education and Medicine in Sports
・第9回アジアオセアニア生理学連合会（神戸）第95回日本生理学会と国際会議の合同大会
・日本小児肥満治療学会
「小児肥満症診療ガイドライン2017」に対するパブリックコメント
・日本動脈硬化学会
I. 「脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート」の体力科学誌への掲載
II. 「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版」に対するパブリックコメント
・日本臨床運動療学会
EIM Japan 理事会メンバーに体力医学会メンバーが参加
- 日本体力医学会の活動の国内外に対する見える化
・広報委員会と連携
- ◎倫理委員会
○研究倫理審査事業の開始
○学会発表、論文発表における倫理規定遵守の推進と監視
- ◎広報委員会
ホームページの充実、その他本学会に関わる事項の広報活動。
- ◎男女共同参画推進委員会
学会大会において 男女共同参画に関するシンポジウムを開催する。
- ◎ガイドライン検討委員会
災害避難時の運動ガイド作成等、ガイドライン作成の方向性を検討する。
- ◎利益相反委員会
体力科学、JPFISMの投稿規定の、利益相反の記載法を改定する。
- 3) 第72回日本体力医学会大会の実施
大会長：三浦裕正（愛媛大学医学部附属病院長、愛媛大学医学部整形外科）
会期：2017年9月16日(土)～18日(月)
会場：愛媛大学城北キャンパス、松山大学文京キャンパス
- 4) 第73回日本体力医学会大会の準備
大会長：戎 利光（福井工業大学スポーツ健康科学部学部長・教授）
会期：2018年9月7日(金)～9日(日)
会場：AOSSA, ハピリン
- 5) 第74回日本体力医学会大会の準備
大会長：田中喜代次（筑波大学体育系大学院人間総合科学研究科教授）
会期：2019年9月19日(木)～21日(土)
会場：つくば国際会議場
5. 平成30年度会計報告（予算）に関する件（勝村財務委員長）
平成30年度予算案が提示され、下記の項目について説明が行われた。
・収入の正会員の会費納入率を90%で試算した。
・別途積立金預金の取り崩しを本年度は行わないこととした。
・各地方会の補助金を全て20万円にした。
・名簿作成費はオンライン名簿の維持費として計上した。
・役員登記関係費は理事の交代に伴い計上した。
・租税公課は、本年度より一般社団法人化に伴う消費税が発生するので、公認会計士の先生に試算して頂き、計上した。
また、それ以外の項目についてはほぼ前年度通り計上し、平成30年度の収支差額としては478,000円の黒字となる旨の報告がなされた（収入合計81,271,000円、支出合計80,793,000円の予定）。
6. 名誉会員推薦に関する件（鈴木理事長）
名誉会員選考委員会（総務委員会兼務）にて名誉会員推薦内規に基づき以下の4名の候補者が推薦された旨の報告がなされ、審議の結果、承認された。
田中宏暁、成澤三雄、古田善伯、山地啓司（敬称略）
7. 評議員推薦に関する件（下光評議員会長）
平成29年度評議員推薦に関しては28名の推薦があり、評議員選考委員会で評議員選考規定に従って審査を行い、その結果28名の候補者全員が評議員資格を有するとの報告に基づき、評議員会にて承認された旨、報告がなされた。
新評議員（28名）
- | | | |
|------|-------|-------|
| 荒井弘和 | 石原一成 | 稲次潤子 |
| 上田真也 | 臼井達矢 | 宇田宗弘 |
| 江口泰正 | 大河原一憲 | 大迫正文 |
| 大島秀武 | 大野善隆 | 岡田真平 |
| 笠原政志 | 桂良寛 | 越田専太郎 |
| 越中敬一 | 須藤みず紀 | 外林大輔 |
| 難波秀行 | 萩裕美子 | 濱崎秀崇 |
| 原丈貴 | 原田和弘 | 星野太佑 |
| 松下宗洋 | 宮本忠吉 | 羅成圭 |
| 弘原海剛 | | |
8. 役員改選に関する件（須田選挙管理委員長）
以下のとおり平成29年度社員総会後の役員について選挙結果の報告がなされた。

新理事（24名）

碓井外幸	宇高潤	大野誠
小野寺昇	勝村俊仁	川原貴
栗原敏	後藤勝正	坂本静男
下光輝一	鈴木政登	須田和裕
武政徹	竹森重	田中喜代次
田畑泉	永富良一	成田和穂
西平賀昭	浜岡隆文	前田清司
宮川俊平	宮地元彦	和気秀文

また、鈴木理事長より、須永美歌子会員を理事長推薦理事とすることが報告された。審議の結果、新理事25名が承認された。

9. 第73回日本体力医学会大会（福井）開催について （戎 利光第73回大会長）

大会の進捗状況が報告された。

大会長：戎 利光（福井工業大学スポーツ健康科学部
学部長・教授）

会 期：2018年9月7日（金）～9日（日）

会 場：AOSSA, ハピリン

10. 第74回日本体力医学会大会（茨城）開催について （田中喜代次第74回大会長）

大会の進捗状況が報告された。

大会長：田中喜代次（筑波大学体育系大学院人間総合
科学研究科教授）

会 期：2019年9月19日（木）～21日（土）

会 場：つくば国際会議場

11. その他（鈴木理事長）

鈴木理事長より、体力医学会の財政の進捗状況について説明された。

平成24年度以降の団塊の世代の会員が定年退職で退会されたこと、更に平成25年から和文誌に加え英文誌も発刊となった為、会費収入の減少と、印刷費の高騰により、年間1,100万円以上の赤字が発生していた。しかし、赤字の削減の為、多くの事業を削減してきた。（削減した事業の詳細は、8月25日の理事会議事録参照）

また、平成29年度の決算は黒字と報告されているが、別途積立金預金を取り崩して黒字となっているので、別途積立金預金を取り崩さなければ収支計算上では実質赤字になる。

しかしながら、平成30年度の予算案では、別途積立金預金を取り崩さないで黒字を見込んでおり、現状では平成30年度には、完全に黒字になる見通しである。

財政基盤が固まってきた段階で、赤字の原因となった英文誌の問題等様々な問題を解決していき、新たな企画を立ち上げる予定である。

一般社団法人日本体力医学会新理事会（2017年9月）議事録

日時：2017年9月17日(日) 午後4時30分～5時00分

場所：松山大学 カルフル3F 会議室1

出席者：鈴木政登, 西平賀昭, 永富良一, 碓井外幸,
宇高 潤新理事, 大野 誠, 小野寺昇,
勝村俊仁, 川原 貴, 栗原 敏, 坂本静男,
須田和裕, 須永美歌子新理事, 武政 徹,
竹森 重, 武政 徹, 田畑 泉, 成田和穂,
浜岡隆文, 前田清司新理事, 宮地元彦,
和気秀文新理事, 清田 寛, 小林康孝監事

欠席者：下光輝一, 永富良一, 後藤勝正, 田中喜代次,

宮川俊平新理事, 井上 茂, 定本朋子監事

議事録作成者：鈴木政登

清田監事が仮議長として開会した。

【議事】

1. 理事長・副理事長・常務理事の選任について

(清田監事)

過日開催された役員選挙の結果が報告され、理事長に鈴木政登理事、副理事長に西平賀昭理事、永富良一理事、常務理事に碓井外幸理事が選ばれたことが報告され、審議の結果、承認された。なお、副理事長選挙の得票順で第1副理事長に西平理事、第2副理事長に永富理事とすることが確認された。

鈴木理事が理事長に承認されたため、以降鈴木理事長を議長として議事が進められた。

2. 理事会日程について (鈴木理事長)

今後の理事会日程案が資料として提出され、以下の通り2018年9月までの理事会日程が決定した。

- ・2017年11月17日(金)
- ・2018年2月16日(金)
- ・2018年5月18日(金)
- ・2018年8月24日(金)
- ・2018年9月6日(木) ※第73回福井大会前日

3. 各種委員会委員長について (鈴木理事長)

資料に基づき、理事会申し送り事項の確認がなされた。新理事には各種委員会の委員長を後日お願いするため、次回理事会までに各種委員会委員長・副委員長、委員を推薦し、理事会で承認を頂くスケジュールが確認された。

なお、以下の委員会は緊急性のある委員会のため、

委員長の推薦があり、審議の結果、承認された。

①編集委員会

連日論文が投稿されており、編集委員会業務は1日も休むわけには行かない為、委員長：田中喜代次理事、副委員長：後藤勝正理事に継続していただきたい旨、理事長より提案され、承認された。

②学術委員会

今までスポーツ医学研修会の会場として東京慈恵会医科大学を借りて行ってきたが、スポーツ医学研究等を行っている先生が現在慈恵医大にはおらず、竹森理事、山内前理事にも負担を掛けてきた。熟慮の結果、来年度からは日本体育大学に会場を変更する事になった。しかし、日本体育大学には体力医学会スポーツ医学研修会やその実習を経験された先生が居ないことから、碓井常務理事に再度学術委員長に就いてもらい、日本体育大学側がスポーツ医学研修会を軌道に乗せるまで、サポートして運用することになった。スポーツ医学研修会実行委員長には、日本体育大学の中里浩一評議員に就任して頂くことになった、ことが報告された。

③倫理委員会

倫理審査を開始したばかりで軌道に乗っていないため、成田和穂理事に委員長を継続して頂くことになった。

以下の委員会を特別委員会として新規に立ち上げることが提案され、承認された。

①FAOPS2019運営委員会

渉外委員会の小委員会としてアジア太平洋生理学会FAOPS2019(和気秀文委員担当)があったが、今期より、渉外委員会より独立させ、新たに委員長は和気秀文理事に就任して頂く案がだされ、承認された。尚、FAOPS2019運営委員会運営資金については、国内外交流費を充てることが了承された。

また、他の特別委員会については、整理・統合する旨、報告された。

4. その他

- ・新役員の自己紹介が行われた。
- ・第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会(FAOPS2019)大会長の鍋倉純一先生より、大会の開催状況について報告された。

会 場：神戸国際展示場

会 期：2019年3月28日(木)～31日(日)

第29回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内（第2報）

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋カトレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

平成29年11月10日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

1. 会 場

日本体育大学東京世田谷キャンパス、各教室および中央測定室など

2. 日時および研修内容

(I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2018年(平成30年)6月30日(土)

9:00~10:40	オリエンテーション、有疾患に対する運動療法の考え方
10:40~10:50	休憩
10:50~11:50	高次脳機能と運動 - 認知症予防のための運動など -
11:50~12:50	筋骨格系組織と運動 - 寝たきり予防のための運動など -
12:50~13:50	昼食・休憩
13:50~14:50	循環器・呼吸器と運動 - 肺疾患に対する運動など -
14:50~15:50	幼児期および成長期における運動
15:50~16:00	休憩
16:00~17:00	運動、栄養、生活習慣病予防について

懇親会（会費3000円、参加自由）

2018年(平成30年)7月1日(日)

9:00~10:30	運動処方の基礎
10:30~10:40	休憩
10:40~12:10	運動器疾患に対する運動療法
12:10~13:10	休憩
13:10~14:40	心・循環器疾患に対する運動療法
14:40~14:50	休憩
14:50~16:20	メタボリックシンドロームに対する運動療法
16:20~16:30	休憩
16:30~18:00	投薬患者への運動療法の基礎

(II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋カトレニング実習も行います。

2018年(平成30年)8月3日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習(a)(トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習(b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2018年(平成30年)8月4日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際(a)(前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習(救急救命実習, テーピング, 筋力/筋パワートレーニング)

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2018年(平成30年)8月5日(日)10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料をテキスト化しそれに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義14単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2018年4月申請予定)。また、

THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（現在認可申請中）。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にしてください。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F

一般社団法人学会支援機構内

日本体力医学会スポーツ医学研修会 係

電話: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012

E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

第29回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけて下さい。）

第29回 基礎コース

第29回 応用コース

試 験

氏 名 _____

連絡先 〒 _____

TEL : _____ E-Mail : _____

編 集 後 記

2018年最初の体力科学(第67巻第1号)をお送りいたします。今年は、2月から平昌オリンピック、パラリンピックが、また6月にはサッカーワールドカップがロシアで開催されるなど、世界的なスポーツのビッグイベントが目白押しです。また、来年にはラグビーワールドカップが日本で開催され、そしていよいよ2020年東京オリンピック、パラリンピックとなります。スポーツ選手にとって、まずは本番で最高のパフォーマンスを発揮することが最重要課題と思います。日々のトレーニングとともに、特に海外で開催される国際大会においては、時差、気候変化、食べ物の違いなどによるコンディショニングが難しく、海外での環境にいかに対応し、最善を尽くせるような準備を行うことが必要とされています。体力科学研究者の出番です。これまでも多くの科学サポートにより、各競技・選手への対応が行われてきていますが、常にそのサポートが十分機能したかは疑問符が付くことも多かったのではないかと感じます。近年では現場と研究者が連携して多くの研究による科学的根拠データを出しています。しかし、人は千差万別であり、本場に得られた基礎データが超・超人アスリートに100%うまくいくという保証は得られないのが自然の理だと思います。私たち研究者は、まったく新しい知見を発見する

ことや新しい方法を作り出すことも重要ですが、まだ100%でない事項にも目を向け、地道にデータを蓄積することも忘れずにいたいと思います。

さて、本号には、第73回日本体力医学会大会のご案内(第2報)、昨年松山で開催されました第72回大会の指定演題(大会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、国際シンポジウム、国際セッション)の抄録が掲載されておりますので、学会大会にご参加できなかった方や見逃した方などぜひご一読いただければと思います。また、総説1編、原著論文2編が掲載されています。

最後に、昨年1年間の体力科学及び英文誌JPFISMの掲載論文数は、私の調べでは体力科学35本(総説8、原著26、教育講座1)、JPFISM48本(Review 16、Regular Article 17、Short Review Article 10、その他5)となっております。投稿者の方、また、多くの査読者の方にご協力いただき改めて御礼申し上げますとともに、投稿数は決してまだ多いとは言えない状況ですので、本学会員の皆さまの研究が一層発展され、ぜひ本学会誌への投稿をお願いできればと思います。

田中英登

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.67, No.1

体 力 科 学 第 67 巻 第 1 号

平成30年1月25日 印刷
平成30年2月1日 発行

編集兼発行者
発行所

田中喜代次
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印刷所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社
